

日本学術会議公開シンポジウム

明治神宮の森

これまでと これからの100年

～鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査から～

明治神宮の杜造成100年を迎えるにあたり、自然環境総合調査を実施し、大きな発見があった。「永遠の杜づくり」を目指した杜は現在、どうなっているのか。これから100年は、どうなっていくのか——調査結果を公表し、未来に向けた各分野の叡智を結集する。

平成25年 **12月12日[木]** 13:00～17:00

場所 **日本学術会議講堂** 東京都港区六本木7-22-34

入場無料

- 13:00 開会の辞
石川 幹子 / 日本学術会議第三部会員、環境学委員会委員長、中央大学教授
会長挨拶
大西 隆 / 日本学術会議会長、東京大学名誉教授
鎮座百年の明治神宮
中島精太郎 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会委員長、明治神宮宮司
人のつくった森の科学と技術
進士五十八 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会座長、東京農業大学名誉教授
- 13:30 新発見データの発表—第二次総合調査から
新里 達也 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会主査、環境指標生物代表
- 13:45 映像—生命を育む神宮の杜
伊藤弥寿彦 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会委員、トレジャー・パブリッシング 映像プロデューサー
- 14:10 第二次総合調査各班報告—神宮の自然特性—
樹 木 濱野 周泰 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会主査、東京農業大学教授
植 生 奥富 清 / 東京農工大学名誉教授
シダ植物 中池 敏之 / 東洋英和女学院大学非常勤講師
変形菌 萩原 博光 / 国立科学博物館名誉研究員
鳥 類 柳澤 紀夫 / 日本鳥類保護連盟元理事
クモ類 小野 展嗣 / 国立科学博物館研究主幹
土壌動物 青木 淳一 / 横浜国立大学名誉教授
- 15:40 パネルディスカッション—これからの森・自然環境の持続可能性に向けて—
コーディネーター 進士五十八 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会座長、東京農業大学名誉教授
パネリスト 石川 幹子 / 中央大学教授
養老 孟司 / 東京大学名誉教授
森嶋 昭夫 / 日本環境協会前理事長
鷺谷いづみ / 東京大学大学院教授
中島精太郎 / 明治神宮宮司



南参道口鳥居—(左)大正9年11月創建当時、(右)現在



主催 / 日本学術会議環境学委員会
共催 / 第二次明治神宮境内総合調査委員会
お問合せ / 鎮座百年記念第二次明治神宮境内総合調査事務局 (Tel.03-3379-5511)



ドングリキンカクキン(子囊菌)



ワスレナグモ(クモ類)



オンドリ(鳥類)



タヌキ(哺乳類)



アオダイショウ(爬虫類)



コオオベソマイマイ類の一種(陸産貝類)



タンロラン(種子植物)



トサノゼニゴケ(苔類)



ホソエノヌカホコリ(変形菌)



ウラナミアカシジミ(昆虫類)